

# ほくとわたしの ギャラリー

## 幼稚園ウィーク in 西淡 造形展



市内6幼稚園の合同制作。クリスマスをテーマに、ペットボトルや段ボールなどを使ってサンタクロースやトナカイ、クリスマスツリー等の立体作品を作り、絵画と併せて西淡公民館に展示しました。(4頁に関連記事)

また、この山には「ゆずりは」の木が多く自生し、この木は新しい芽が出て葉になると古い葉が落ちて、その座をゆずる「父子相譲る」めでたい木として新年に飾られ、これが山の名になったともいわれています。



▲諭鶴羽山(中央)

## わかまち ふるさと資源

18

### 諭鶴羽山

淡路島の南部に位置する島の最高峰「諭鶴羽山」(標高六百八m)は、貴重な植物や野鳥、動物が住み、自然豊かな山として知られています。東南の斜面は急傾斜となつて海に注ぎ、北西は島内最大の三原平野へ続く比較的なだらかな形状です。山頂付近には諭鶴羽神社があり、改良された参道も多く、登山を楽しむ人が大勢います。山上からの展望は素晴らしく、天気の良い日には西方向には淡路と四国をつなぐ「大鳴門橋」を、東にはうつつら



▲諭鶴羽山登山「青少年のつどい歩こう大会」(11月23日、子ども会主催)

と和歌山方面を見ることができま。南は、近くは沼島、紀伊水道から雄大な太平洋に続いています。また斜面・麓には、灘黒岩水仙郷や諭鶴羽ダム公園などの観光名所もあります。四月に開校した淡路三原高校の新歌にも、諭鶴羽が詠われています。

#### 【諭鶴羽山の語源】

諭鶴羽神社の縁起によると、天竺の摩訶陀神がツルに乗って熊野におもむく途中、この山頂で羽を休めたので、その名がついたといわれています。

## わかまち 心気

子どもたちに夢と感動を！  
下幡多子どもだんじり製作実行委員会

地域の過疎化や高齢化、核家族化に伴って世代間交流がめっきり少なくなっています。これらが負の連鎖となり人の絆を基盤とした美しい地域や、長い歴史のある伝統芸能が失われつつあります。

この状況を回避するには兵庫県が掲げている「参画と協働」による美しい兵庫の実現(地域コミュニティの再生)にあります。

私たちは、県の「地域づくり活動応援事業」の助成を受けて、手探り、手造りによる「子どもだんじり製作事業」を行っています。これは前述の趣旨をコンセプトに、地区の自治会や老人会、PTAとの協働で地域の子どもたちによる、子どもだんじりの製作を中心に行っています。

また、ふるさとの歴史を深く知り、語り合い、後世



▲作製中のだんじりを磨く子どもたち

に語り継ごうと、「歴史学習会」を数回にわたり開催。私たちの思いや製作状況を伝えた「かわら版」も発行し、地区の世帯に配布しています。二月中旬にだんじりの完成記念式典を開催します。市民の皆さんもぜひお越しください。

下幡多子どもだんじり製作実行委員会  
◆会長 沖 健作  
◆構成人員 290名(地区人口)  
◆事務局 ☎ 42-1432(金生有穂)